

## エントリー費の見直しについて

三重県テニス協会 理事長 河西善哉

日頃はテニス協会の事業にご理解をご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年より検討してまいりましたが、2月5日の常務理事会において、下記のようにエントリー費を見直しすることと致しました。誠に恐縮ではございますがご了解くださいますようお願い申し上げます。

ジュニアのエントリー費		2,500円
一般のエントリー費	夏季選手権ベテラン、マスターズ、三重県選手権	4,000円
	上記以外の一般の試合	3,000円
(ワンコインの試合ジュニア、一般とも100円増し)		

### 今回のエントリー費の見直しに関して

三重県テニス協会では、平成24年に、運営費の見直し等支出の見直しを行って収支は一度改善しました。しかし、テニス人口の高齢化が進む中で、若年者の加入が進まず、相当のスピードでテニス人口が減少しており、かつては9,000人近くあった登録者数が今年度には6,500人程度にまで減少し、以前に比べ、協会の収入が大きく減少しています。

近年は、国体の開催に向けた役員の養成事業、選手強化事業、普及・育成を目指したプレー&ステイ事業など等による支出増があり、収支状況が悪化していました。

昨年は、個人登録費を認めていただき、2年程続いた基本財産を取り崩してやりくりする状態をようやく脱することができました。しかし、これは赤字財政から脱したというだけで、当初見込んでいたインターハイや国体に向けて資金を積み立てるものとはなっておりません。先催県からの情報では、インターハイ・国体の準備、運営には、様々な出費があるやに伝えられており、やはり、一定の財源を準備していく必要があります。

さらに、この相当のピッチで進む加入者数の減少を食い止め、増勢に転じるためには、県下全域でP&S事業を推進し、これをテニススクールや、スポーツ少年団の活動に取り込み、それを基盤にして中学校にテニス部をつくる運動を進めるなど、一層の普及と一貫指導の確立を同時に進めていかなければならないと考えています。また、ジュニアにおいても、一般においても普及的大会をできる限り増やしていけるように、組織改革を進めて参ります。

これらを進めていくためには安定した財源がどうしても必要です。何卒、ご理解くださいますようお願い致します。

尚、今次改定に際しては、愛知、岐阜、静岡、滋賀、和歌山、大阪、奈良の8府県のエントリー費を調査しました。この結果、三重県のジュニアの1,500円という額は、特別に低額でした。一般の3,000円という額は他県にもありましたが最も低い金額でした。従って、今回の引き上げは、今までエントリー費が最も低額であった三重県が他府県に並みにさせていただくという改定です。この点もどうかご理解下さい。

以上